

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内でごみの処理ルールを設定しており、分別処分を行うとともに、削減の周知を行っている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・空調設備を26度に設定している。 ・積極的にカーシェアを利用している。 ・ビル管理会社の調査によりエネルギー排出量を把握している。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業所内CO2メーター設置により観測管理を行っており、温室効果ガスの排出量を把握している。その抑制への取り組みを行い、従業員の通勤はマイカーを抑制し、公共交通機関の利用を推奨している。 ・熊本県渋滞対策パートナー登録制度に登録している		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・ペットの飼い主に対して、社会的責任の存在を自覚してもらう啓発をホームページにて行っている。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・電子決裁や電子契約書を導入しペーパーレス化を推進している。 ・社内使用書類について、裏紙の利用を推奨している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水等の適切な処理を実践している。 ・環境省の「ウォータープロジェクト」の参加企業である。 (http://www.env.go.jp/water/project/action/com.html)		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・廃棄される馬肉等について再利用を行い、ペットフードへの再利用が可能な商品を開発している。 ・グリーン購入の意義を周知、推進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・食肉販売に際し、訳アリ商品や適切な人数分表示を行い(個食による提供)、フードロスの削減に取り組んでいる。 ・肉の切れ端(通常廃棄される)を利用してペットフードの開発を行っている。	1	2			6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィス内に観葉植物を設置し、社員が担当制で水やりを実施している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・フリードリンク制度を導入し、マイボトルにドリンクを入れ替えることでプラスチックごみの削減に取り組んでいる。											12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・業務中にシェアサイクルサービスの利用を推奨したり、会社から2キロメートル以内に住んでいる社員へは住宅手当を支給し、公共交通機関の使用機会削減に取り組んでいる。								9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

